

ナノコンを使いこなすための ナノフィラー表面処理・界面形成技術とナノコンの将来展望

日時 2016年05月30日(月) 10:30~16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 江東区産業会館 第1会議室

定員: 30名

受講料 49,980円 ※昼食・資料付

※満度になり次第、

(税込)

※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合(各)につき、250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていたいただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

募集終了させていただきます。

講師 永田 也 (富山県立大学 客員教授) (九州化成工業株式会社 特級高度専門職)

申込受付は終了しました

ナノコンポジットは約20年前に開発され注目を集めていますが、コンポジットとしてはまた幅広く実用されているわけではありません。ナノフィラーの表面処理・界面形成技術が確立しておらず、ナノフィラーがコンポジット発現特性にどの様に寄与するかとのメカニズムも分かっていません。そこで本講演では既存技術をベースとしたナノフィラーのための表面処理技術、分散技術に関して紹介します。さらにナノフィラーで唯一幅広く実用されているゴムをお手本に、表面処理、分散、界面形成について紹介し、ナノコンを使いこなす技術について考察します。最後にナノコンで出来ること出来ないことを整理し、ナノコンの将来について提言を行います。

習得できる知識

フィラー充填コンポジットの表面処理技術

・表面処理を化学し、最適な表面処理を行うためには?

ナノフィラー分散技術

・ナノフィラーの分散メカニズムと分散状態はどの様になっているのか?

界面形成技術と界面の役割

・コンポジットの性能を左右する界面をどの様に設計するのか?

ナノコンの今後の期待

・ナノコンの本質を見極め、その将来についての提言

プログラム

1. フィラーとは?

- 1-1 フィラーの化合物分類
- 1-2 ナノフィラーと機能性フィラー
- 1-3 フィラーの製造法

2. フィラーの表面処理を化学する(既存技術)

- 2-1 フィラーの表面
- 2-2 表面処理を化学する
- 2-3 表面処理の実際とナノフィラーの表面処理

3. ゴムを先達としたナノフィラーの活用術

- 3-1 ナノフィラーとゴムの界面
- 3-2 ナノフィラーの分散
- 3-3 界面の重要性と評価法

4. ナノコンポジットの将来

- 4-1 ナノコンポジットの現状
- 4-2 ナノコンポジットの出来ること出来ないこと
- 4-3 ナノコンポジットの本質と今後の展開

『ナノフィラー表面処理・界面形成技術』セミナー申込書

| | | | |
|-------|----|--------|--|
| 会社・大学 | | | |
| 住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX | |
| お名前 | 所属 | E-Mail | |
| ① | | | |
| ② | | | |

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

- ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。
- ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。
- ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。

Eメール 郵送